

△四団ブレー・ニア 創団十五周年記念 ライブ演奏集

白

歌

白

替

～ライブでつづるブレー・ニアの十五年



表紙の絵…暖かな日（1957年 レピーチン 油彩 ロシア美術館所蔵）

合唱団ブレーミア
創団 15 周年記念
ライブ演奏集

自歌自贊

ライブでつづるブレーミア 15 年の歩み

長老 *1) ブレーミアの CD ができます
た。

若者 *2) いきなり話の腰を折るよう
で申し訳ありませんが、この
長老、若者という呼び方、ど
うなんでしょう。

長老 それについては下に注があります
ので参照してください。

若者 そうですか。

若者 さてそれでは、創団 15 周年記念
のこのアルバム。どうですか？

長老 思えば 15 年もようやったわ。

若者 私はまだ 10 年ちょっとですけど。
このアルバムのタイトル「自歌自
贊」というのは「自画自贊」の馴熟
落ですね。

長老 ま、ちょっとくさいけど、15 年も
ようやったと自分らのやってきた
ことをほめてもええんちゃう？

若者 だれも誉めてくれませんもんね。
せめて自分らだけでも誉めたい。

長老 まっな。このアルバムは、15 周年
の記念でもあるけど、この機会に
今後のブレーミアの活動の方向を
問う、という意味も込めてる。

若者 なるほど。
それでは、この CD に収めた曲を
順を追ってコメントしていくたい
と思います。

【注】

*1) 長老…決して老人というわけではないが、ブ
レーミアでは一番年上だとこう呼ばれる。

*2) 若者…決して若者というわけではないが、ブ
レーミアでは相対的に若いとこう呼ば
れる。

1. Deep River

・スピリチュアル・編曲：ブレーミア

Deep River, my home is over Jordan
Deep River, Lord
I want cross over into campground
Oh, don't you want to go to dat gospel feast
Dat Promised Land where all is peace
Deep River...

深き河よ、
このヨルダン川の向こうが
わたしのふるさと
深き河、神よ
あの地に渡って帰りたい
そう、君たちも行くんだろう、
あの福音の祝祭に
そこでは全ての平安が約束されてる

長老 なつかしい。オレが合唱をやりはじめて最初に練習した曲やし。ええねえ。

若者 ひとりで悦に入らんといいてください。

長老 個人的な思い入れが強いんで、客観的な評価がでけへん。

若者 この、心から染み出てくるような曲想というか、歌い方がええですねえ。

長老 日本語で歌うのを基本にしてるけど、こんなんやつたらまたやってもええかな。

若者 そうですね。絶対に外国語じゃだめ、いうわけではないですよね。

長老 ま、生活に密着した歌を歌おうということやから、自分の言葉が一番表現しやすい。

若者 なるほど。

長老 歌は言葉の比重が高い。

- フロイント&ブレーミア ジョイントコンサート
 - 1986年6月22日
 - 摂津市民文化ホール

2. 牛追いの歌

•アメリカ民謡・訳・編曲：ブレーミア

トゥムライディオ
トゥムロウトゥムロウ
トゥムライディオ

夜明けの前にキャンプをたたんで
北めざし牛を追え
トゥムロウ ...

牡牛がにげたぞ
ここが腕の見せ所
この手から縄を打てば逃がしはしない
トゥムロウ ...

夜中の見張りは何よりもつらい
わけもなく鞭を打てば荒れ野に響く
トゥムロウ ...

あの町に着いたら
投げ縄も鞭も売り飛ばそう
金ができたらあの娘にプロポーズ
トゥムロウ ...

長老 このときは、30人ほどメンバー
がおったんで、今とは迫力がちが
うな。

若者 ア・カペラでもけっこ安心して
聴けますね。

長老 量は力なり。

3. 蚊の歌

・詞：ゲーテ・曲：ムソルグスキー
・訳詞：堀内敬三・編曲：ブレーミア

昔、王様、蚊を飼ってた、蚊！
王子のように可愛がる、蚊！

仕立て屋を召し、言わるるよう
蚊に外套をりっぱに作れ
蚊に外套！ ハハハ！

ピロードの服を蚊に着せて
御殿の中でいぱりかえらす
ハハ、ハハハ

蚊は大臣になりすまして
仲間の蚊ども連れて歩く
ハハ

后も女官も恐れをなし
うかつに手出しするものなく
ハハ

刺されてたとえかゆかろうとも
つぶすことなぞまかりならぬ
ハハハハハ

若者 学生のとき聞いたはずやねんけど、印象がない。

長老 なるほど、内容の割に生真面目な演奏やね。

若者 ちょっと、テレがあるんかな。

長老 かもしれんね。テレといえば、「サラリーマンブルース」もちよつと中途半端やったかもしれない。

若者 そうですね。もっとすっとんで歌ってもよかった。

長老 おいおい、「自歌自賛」なんやら、もっとほめてや。

若者 けなす言葉はポンポン出てくるけど、ほめるのはなかなか出ませんね。

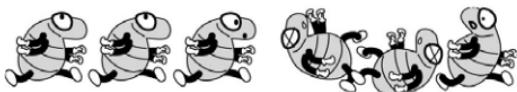
長老 そうやな、日本はほめる文化が育てへん国やな。

若者 ほら、長老かて、けなす言葉はすぐ出てきますやん。

•第31回 フロイント・コール 発表会

•1988年12月11日

•近鉄小劇場



4. 南アフリカの子守歌

・南アフリカ民謡・詞・編曲：ブレーミア

ねんね、泣かずに、いい子だね
母さん、ほらね、おまえといっしょ
目が覚めるまでここにいるよ
ねんね、泣かずに、いい子だね

若者 歌詞も内容もわからんのに、よう作りました。

長老 気は心。通じるもんは通じる。

若者 心情的に、南アフリカの反アパルトヘイト闘争を応援した、ということになりますか。

長老 通じるやろね。

5. 愛のマーチ

・南アフリカ民謡・詞・編曲：ブレーミア

もしも生まれ変わるならば
何に生まれる？
誇り高き自由の勇士、南アフリカ！

もしも歌を歌うならば
何を歌う？
誇り高き自由の勇士、南アフリカ！

もしも愛する人を見つけるならば
どんな人を？
誇り高き自由の勇士、南アフリカ！

•第32回 フロイント・コール 発表会
•1989年12月17日
•箕面市立メイプルホール



6. サマータイム

・詞：ハイワード・曲：ジョージ・ガーシュイン
・訳・編曲：ブレーミア

太陽が燃える季節だね
山も川もまぶしく光ってるね
麦は伸びて、魚もはねてる
今日もいい日だ、いい天気だね

いつかきっといい日が来るよね
いつかきっといいこともあるよ
翼広げて飛んで行く日まで
いまのうちうんとねんねしな

長老 あのころ、子守歌にこだわってたな。

若者 団員の子が小さかった。

長老 うちも、練習に赤ん坊連れていって、皆さん、ご迷惑お掛けしてすみませんでした。

若者 それで、託児室を用意するという今の制度を生んだんですよね。

長老 ま、歌とは別に、そういうエピソードもブレーミアを育てたといえるかも。

若者 この歌、私たちの日本語で聴いて「おお、そういう歌だったのか」という人が多いです。

長老 さもありなむ。ブレーミアの面目躍如、というところや。

若者 今の演奏とくらべると、けっこしぶい。

長老 そやね。変えてきたつもりはなかつてんけど、曲想も時とともに変わるものなんやね。

7. ウォルシング・マチルダ

•オーストラリア民謡・訳・編曲：ブレーミア

＜訳詞：音羽たかし＞

ユカリ繁る川の岸辺で
キャンプの火を囲んで
声をそろえて歌うこの歌
ウォルシングマチルダのしらべを
ウォルシングマチルダ…
われら自由の放浪者
マチルダ肩に、さあ、友よ歌わん
ウォルシングマチルダのしらべを

＜訳詞：ブレーミア＞

日々、男がひとり
いつも陽気な風来坊
池のほとりでキャンプのしたく
ウォルシングマチルダ歌いながら
ウォルシングマチルダ…
こいつがオレの相棒さ

そこへのこのこ羊が一匹
こいつあしめたと風来坊
ふんづかまえて袋に押し込む
ウォルシングマチルダ歌いながら

あれに見えるは地主じゃないか
警官もいっしょだ、一人二人三人！
その袋の中のりっぱな羊、
いったいどこで手に入れた！

いうが早いが、つかまるもんか
ざんぶと飛び込む池の中
それから奴を見たものはない
誰も知らない風来坊

だからここでは今も聞こえる
ウォルシングマチルダのあの歌が

長老 ブレーミアではいろんな試みをやったね。「ウォルシング・マチルダ」もそれまでの歌詞のホンワカした内容を、いたら批判したようなもんや。

若者 開拓者魂、というか、既成の枠にとらわれないぞ！という感じがええですね。

長老 オーストラリア国歌の候補になる理由も、そのあたりにあんのかな。

- 第34回 フロイント・コール 発表会
- 1992年1月11日
- 摂津市民文化ホール

8. 陽はいつか昇るだろう

•詞・曲：ボブ・ディラン・訳・編曲：ブレーミア

いつものように繰り返す
この流れを変えよう
たとえ今日も同じ朝が
訪れたとしても

陽はいつか昇るだろう
西にも東にも
いつの日にか、いつの日にか
この道を照らすだろう

嘘で守られたこの国で
咲く花も色あせる
でも、本当の自由の夢を
だれも捨てられはしない

陽はいつか…

いつだって流れる川のように
時代は変わる
多くの水が集まり
新しい流れを作るよう

陽はいつか…

若者 この初期バージョンも捨て難い。

長老 君は若い！ オレら、もう、こんな元気には歌われへん。

若者 なにをいわはりますねん。まだまだ。

長老 心にもないことを…

若者 いや、今のバージョンでもけっこう若いと思いますよ。元気のええだけが若さやないです。

長老 なかなかええこというなあ。

- 第36回 フロイント・コール 発表会
- 1993年12月19日
- エル・シアター

9. 海の子守歌

・詞・曲：海勢頭 豊・編曲：ブレーミア

西の海に日は落ちて

東の空にお月様

島は浜風、芭蕉も眠る

ぼうや泣くな

よいよいねんねんよ

西の海は茜に染めて

東の空にお星様

今宵満ち潮、千鳥も眠る

ぼうや泣くな

よいよいねんねんよ

ぼうやよい子だ

おおきくなったらば

とおんやまとうんいかすんど

あめりかおらんだいかすんど

ねんねんよ、ほういほい

西の海も東の海も

海はやさしい子守歌

島は花咲く明日の夢

ぼうや泣くな

よいよいねんねんよ

若者 このときは「入りの」を「西の」
に「上がりの」を「東の」と言い
換えて歌いましたね。

長老 オレはその方がええと思ってる。

若者 何か理由が？

長老 沖縄の言葉のニュアンスもわから
んと歌ってええんか、というとこ
やろか。

若者 太陽が入る方角が「イリ」、昇る
方角が「アガリ」。そういう成り
立ちの言葉に、何か意味があるん
とちがいます？

長老 確かに、海をゆりかごにして生き
てる人らの言葉かもしれない。そや
けど、それをそのまま使うたらえ
え、ちゅうもんやない。

若者 「イリ」を「西」と置き換えること
で表現できたんかいと、それ
も疑問です。「とおんやまとうん
…」というところは沖縄の言葉の
ままやし…

長老 ま、この議論は別の機会に。

若者 なんでこのCDに入れたんです？

長老 いや、この歌、好きな人多いや
ろ。

10. わたしが一番きれいだったとき

・詞：ブレーミア(原詩：茨木のり子)
・曲：ジョン・レノン(イマジン)

そのとき町が崩れ落ちて
見えないはずの空が見えて
まわりの人々がたくさん死んだ

男はみんな澄んだ瞳で
敬礼だけの面影残し
果て無い海越えて帰って来ない

おしゃれする事も忘れていた
わたしがまだ若くきれいだった時

私の国は戦争に敗れ
私の町は卑屈になって
私の心は空っぽだった

おしゃれする事も…

私は町をさまよい歩き
異国の歌をむさぼり聴いた
それでも心は空っぽだった

それなら私は長生きしよう
生きてこの世を歌いつづけよう
命の尽くるまで探しつづけよう

おしゃれする事も…

長老 この演奏は、第2バージョンやな。
若者 そうですね。初期バージョンは後半ができてなかった。

長老 この時から「借曲」が一つの手法となった。

若者 えっ？ ああ、「作曲」ではなく、曲を借りるから「シャッキヨク」ね。

長老 そう、一から作曲するのはけっこう根性いる。



- 第38回 フロイント・コール 発表会
 - 1995年12月24日
 - 宝塚市立ベガ・ホール

11. バラバラ

・詞：忌野 清志郎・曲：H.リボック
・編曲：ブレーミア

世界中バラバラ
人々は…考えが…
やることが…法律も…

幸せもバラバラ
価値観も…危機感も…
始めから…最後まで…

学校もバラバラ
家の中…政治など…
軍隊も…病院も…

南でもバラバラ
北の方…みぎ左…
爆弾が…身体まで…

12. ナトリウムが漏れちゃった

・詞：ブレーミア・曲：ジャマイカ民謡(Day-O)

こりやたいへんだ
ナトリウムが漏れちゃったよ
やばい、隠せ隠せ隠せ隠せ隠し通せ
ナトリウムが漏れちゃった

たいした事故じゃありません
放射能漏れはありません
大丈夫なの？ 心配いらない！
このビデオをご覧なさい

やばい、漏れちゃった

連絡遅れて怒られちゃった
隠したビデオも見つかっちゃった
動燃さんよ、どうなってんだい
所長の更迭で許してちょうだい

やばい、漏れちゃった
隠せ、ほんとのこと

やばい、たいへんだ
ナトリウムが漏れちゃったよ
やばい、隠せ隠せ隠せ隠せ隠し通せ
ナトリウムが漏れちゃった

若者 このメドレーは、なかなかおもしろいですね。

長老 「もんじゅ」がナトリウム漏れ事故を起こした直後やったね。H君が一晩で作って、発表会直前にやろう！と。この辺が、ブレーミアの真骨頂なんかもしれん。

若者 むしゃくしゃしたもんをガ一とぶつけて。歌の力なんでしょうね。

- 第38回 フロイント・コール 発表会
- 1995年12月24日
- 宝塚市立ベガ・ホール

13. バラ

•詞・曲：アマンダ・マクブルーム
•訳・編曲：ブレーミア

愛は河、深みのよう
若い心を溺れさせる
愛は刃物、ナイフのよう
人の心を切り裂く
愛は砂漠の砂のよう
いつも何かに飢えている
だけど、愛は土の下で
目覚めるときを待っている

つまづくことを恐れるなら
歩くことさえできない
目覚めることを恐れるなら
夢見ることはできない
失うことを恐れるなら
誰を愛することもできない
死ぬことだけを恐れるなら
生きることはむなし

道は遠く闇の中
孤独のときは思うだろう
この世に愛はあるのだろうか
見放されたと嘆いて
そんな時は思い起こそう
冬の冷たい雪の下で
眠る種は光を受けて
バラの花を咲かすだろう

長老 この歌は演奏回数では上位やろ。
若者 データは見てませんが、けっこう
やつてたでしょうね。
長老 ブレーミアの定番やね。



- 第38回 フロイント・コール 発表会
- 1995年12月24日
- 宝塚市立ベガ・ホール

14. この国中に

・詞・曲：ピート・シガー・訳・編曲：ブレーミア

この国中、掘り起こそう
朝から晩まで、ツルハシもって
世界中どこも怪しいことばかり
だから、みんなで愛と勇気をもって
おお、掘り起こそう

この国中、響かそう
朝から晩までこの鐘の音を
世界中どこも危ないことばかり
だから、みんなで愛と勇気をもって
おお、響かそう

この国中、広げよう
朝から晩まで平和の歌を
世界中どこも悲しいことばかり
だから、みんなで愛と勇気をもって
おお、広げよう

この国中、掘り起こそう
この国中、鐘を響かそう
この国中に、平和の歌を
さあ、みんなで愛と勇気をもって
おお、広げよう

長老 初めて聴いたときから日本語にしてみたかった。

若者 いつのことです。

長老 25年くらい前からかな。

若者 ヘー。やっと歌えたっていう感じですか。

長老 日本語の歌詞もあったことはあった。でも「ハンマー持つたら」なんて直訳調で、歌う気せんかったわ。

若者 なるほど。そんなこだわりがあつたんですね。

• 1996年どーんらいぶ

• 1996年11月9日

• 大阪府立ドーンセンター・パフォーマンス・スペース

15. 星とたんぽぼ

•原詩：金子みすゞ・曲・編曲：ブレーミア

青いお空の底深く
海の小石のそのように
夜が来るまで沈んでる
星のお星は目に見えぬ
見えないけれど
見えないけれどもあるんだよ

散って枯れてるたんぽぼの
河原のすみで静かに
春の来るまで隠れてる
強いその根は目に見えぬ
見えないものも
見えないものもあるんだよ

若者 初めてブレーミアで作曲した、
「金子みすゞ」シリーズ。

長老 それなりにいい出来やね。

若者 次回は詩も曲もオリジナルでやりたいですね。

長老 そうやな。

16. 大漁

•原詩：金子みすゞ・曲・編曲：ブレーミア

朝焼けだ、小焼けだ、大漁だ
大羽いわしの大漁だ
浜は祭りのようだけど
海の底では何万の
いわしの弔いするだろう

•1996年どーんらいぶ

•1996年11月9日

•大阪府立ドーンセンター・パフォーマンス・スペース

17. 雨ニモマケズ

・曲：不詳(Amazing Grace)・原詩：宮沢賢治
・編曲：ブレーミア

雨にも負けず、風にも負けず
雪にも、暑さにも負けぬ
丈夫な身体さえあれば
ほかには何もいらない

決して怒らず、いつも静かに
いつも笑っている
自分のことは後回し
他人のことは忘れない

東に病の子があれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行って荷物を背負い

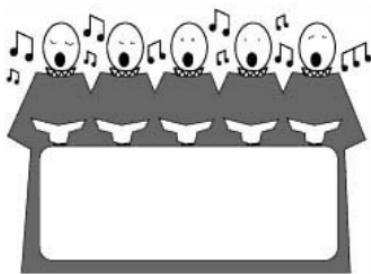
日照りのときは涙を流し
寒さの夏はうろたえ
誉められもせず
苦にもされず
そんな私になりたい

若者 「雨ニモマケズ」は賛否両論でしたね。

長老 賛否いうても、内容はいろいろやろ。Amazing Grace にふさわしい歌詞ではない、ちゅう人もいれば、宮沢賢治の雰囲気とちゃう、いう人も。

若者 でも、ブレーミアの人はだいたい気に入ってる。

長老 ひょうたんからコマ、みたいにできてしもたけど、なかなかよいね。



- 1996年どーんらいぶ
- 1996年11月9日
- 大阪府立ドーンセンター・パフォーマンス・スペース

18. サラリーマンブルース

・曲：憂歌団・詞・編曲：ブレーミア

今朝の新聞開けたらば
土地の値段が下がったと
だけど私にや手が出ない
手の出る土地には熊が出る
裏の山にはシシが出る
田んぼのあぜ道ヘビが出る
だけど私にや手が出ない

うちの会社の上役に
お茶を入れろといわれたよ
ここががまんのOLよ
おいしいお茶なら十六茶
フケを加えて十七茶
鼻くそ丸めて十八茶
花も恥じらう十九歳

わたししゃべテランサラリーマン
スタミナ勝負の営業マン
ドリンク片手に今日も行く
元気はつらつ、オロナミンC！
ファイト一発、リボビタンD！
一日一本、ユンケルパワー！
仕上げの決め手は赤まむし！
ドリンク片手に今日も行く

わたしは花の女子大生
教員免許に英会話
きっと役立つ日も来るわ
大学出てるぞ、仕事くれ

ワープロ打てるぞ、仕事くれ
パソコンできるぞ、仕事くれ
ブランド着てるぞ、仕事くれ
きっと役立つ日も来るわ

わたししゃ熟女の夫妻よ
炊事、洗濯、掃除に育児
きっと役立つ日も来るわ
ふとんをたたいて腕鍛え
雑巾しばって指鍛え
ネクタイ締めて首締めて
包丁砥いで爪を研ぐ
きっと役立つ日も来るわ

若者 「蚤の歌」でも思いましたけど、
もっとむちゃくちややつてもよか
ったかもしれませんね。

長老 ブレーミアは真面目なんや。

若者 OLにお茶を入れさすなんてもう
やってへんでしょう。

長老 いや、密かにやられてんとちが
う？ セクハラかって表面に出て来
んだけでいろいろあんのちやう？

若者 これを聴いてると、もっといろんなこと言いたなりますわ。

•ブレーミア '97 夏ライブ
•1997年7月12日
•トライホール

19. ザ・リバー

•詞・曲：ブルース・スプリングスティーン
•訳・編曲：ブレーミア

ふるさとは谷あいの町
親を継ぐのが当たり前の町
緑萌える季節に恋をした
あいつがまだ十七の春だった

なつかしいあの川へ行こう
二人で泳いだあの川へ

子供ができた、と
あいつの手紙が届いた
貯金を全部はたいて
背広を揃えた
二人役所へ出かけ
結婚したけど
花もドレスも指輪も
歌もなかった

なつかしい…

建設会社に就職したけど
この不況で仕事はない
むなしさこらえて
平気なふりをした
あいつはためいきばかりで
だまっていた

そんな時、思い出すのは
いつかドライブしたときのこと

オレンジ色の夕日が
あいつを照らしていたよ
あいつの濡れた肩がきれいだったよ
そんな思い出さえもせつないよ

もう一度あの川へ行こう
二人で泳いだあの川へ

長老 こんな歌をコーラスでやろうとは
誰も思わんやろね。

若者 この歌だけと違いますよ。ブレーミアのレパートリーはたいてい普通の人には意外なんです。

長老 それはいえる。

若者 こんなバラードをもっとやりたい
ですね。

長老 そうやね。われわれ、20世紀の
語り部たらむ使命がある。

若者 おお、肩にぎっしりくるものがあ
りまするう。

- ブレーミア '98 夏ライブ
- 1998年7月26日
- トライホール

20. 何より大切なものの

•曲：マイケル・マッサー・詞：リンダ・クリード
•訳・編曲：ブレーミア

あしたを作るのは
今、生きる子供たち
希望に満ちた世界を信じていよう
そうすれば誰にも感じられる
生きてる自分を

誰もが求めてる
自分のヒーローを
求めては裏切られて
他の誰も當てにしなくなってた

回り道でもどんな遠くでも
自分で決めて歩いていきたい
たとえどんなに深く迷っても
大切なものの、今、生まれてくる
私の中に、かけがえのない

何よりずっと大切なものの
私の中に見つけられるだろう

たとえ夢破れ、くじけそうでも
乗り越える力、信じていよう

長老 次の世代へ何を贈れるか。
若者 おお、さらに肩にぎっしり。



•ブレーミア '98 夏ライブ
•1998年7月26日
•トライホール

21. みのりの牧場

•詞：ウディ・ガスリー・曲：アメリカ民謡
•訳：阪大ニグロ・編曲：ブレーミア

西へ西へと埃の道を
砂の嵐に追われて行く
つらい仕事は果てしもない
山は凍てつき砂漠は燃える

桃の畑で働いてきた
月に照らされ地面に眠った
町のはずれがおれたちの住み家
風とともに流れで行く

荒れた砂漠を緑の大地に
水の豊かなあのダムができりや
緑の大地は広がって行く
おれたちや風とともに去って行く

川はいつでも流れで行く
オレも死ぬまで流れ続ける
オレは死ぬまでこの道を行く
緑の大地の自由を求めて

若者 最新のライブから。現代的な編曲
がよかったです。

長老 そやね。しかし、かっこよすぎて、ウディ・ガスリーのメッセージが届いたか心配や。

若者 こうしてみると、ブレーミアには課題がようさんありますね。

長老 ま、そやけど、そいだけ日本の音楽事情が貧しい、ちゅうこっちゃ。日本の音楽はブレーミアの双肩にかかる。

若者 おお、さらにさらに肩にずっと。

長老 そうはいうても、歌は楽しい。楽しみながら世界を学べる。

若者 そうなんですね。一度はまるとなかなかぬけられません。

- ブレーミア'99 夏ライブ
- 1999年7月10日
- トライホール

長老 そうそう。このアルバムを作ると
き、ライブのビデオも見直してん
けど、司会もなかなかおもしろい
ことゆうとる。今度、記念ビデオ
も作ろか。

若者 えーと。だれがやるんですか？
それに、そんなん欲しい人いますか
ね。

長老 ええねん。どっちみち「自歌自
賛」やねんから。

若者 ま、そういう意見もあった、ゆう
ことで。次いきましょう。

長老 司会、おもしろいねんけどな。

若者 最後にひとこと。締めてください。

長老 できるだけ初演のものを収録した
けど、初演でないもんもある。

若者 録音がなかつたり、音質がひどか
ったりしたんですね。

長老 そう。そういうやつは2回目の演
奏を入れたので、初演に近いとい
うことで許されたし。

若者 なんで初演にこだわるんです？

長老 例えば、一番いい演奏を選べ、ゆ
われたら難しいやろ。それこそ十
人十色や。

若者 なるほど、初演と決めてしまえば
誰も文句を言わない。考えました
ね。

長老 ただし、機材が家庭用やし、客席
で録音したりしたんで、聞き苦し
いところも多々ある。

若者 それも、許されたし。

長老 締めにはならんかった。

自歌自賛

staff

conductor: Masashi Ike

soloist: Eiji Nonomiya\Kobta Hattori

piano: Kaori Yasunaga\Ushio Chiba\Sono Shinoda

guitar: Eiji Nonomiya\Masashi Ike\Takeshi Yoshida

master of ceremonies: Akiko Watanabe\Eiji Nonomiya\Kyoko Tanida

*

ChoraleVremya

自歌自贊



1	Deep River	3:04
2	牛追いの歌	2:36
3	蚤の歌	3:36
4	南アフリカの子守歌	1:51
5	愛のマーチ	3:14
6	サマータイム	3:43
7	ウォルシングマチルダ	4:31
8	陽はいつか昇るだろう	3:31
9	海の子守歌	3:21
10	わたしが一番きれいだったとき	4:54
11	バラバラ	2:44
12	ナトリウムが漏れちゃつた	2:31
13	バラ	4:16
14	この国中に	2:34
15	星とたんぽぽ	2:05
16	大漁	1:41
17	雨ニモマケズ	3:28
18	サラリーマンブルース	5:02
19	ザ・リバー	4:15
20	何より大切なもの	4:42
21	みのりの牧場	3:58

総演奏時間 1:11:37